

ごあいさつ



体操教室での指導と選手育成を行う中で、今年は、子どもたちがはっきり返事をする事と、大きな声で挨拶が出来るようになることを目標に掲げました。

返事をするということは、相手の伝えたいことがきちんと自分に伝わっていることを知らせる方法だと思います。

また、挨拶は、自分の存在を相手に分かってもらう行為だと思います。

日々のレッスンや選手の練習の中で、指導者の言葉に反応しないお子さんも最近多くなったように思います。アドバイスをしても返事がないままレッスンや練習の時間が流れていくことがよくあります。

そんな時には、アドバイスの内容を繰り返し説明し、分かったかどうか質問をしてみます。そうすることでアドバイスの内容が理解され、次の練習に反映されるのです。

このようなことから、返事や挨拶をはっきりすることで自分の意思を相手に伝えることが良好なコミュニケーションをとる手段だと考えています。

良好なコミュニケーションがとれることでよい人間関係が生まれてくるのではないのでしょうか。

平成22年10月10日

菅 一男

菅 一男 経歴

昭和43年（1968）広島県立三原高等学校卒業
同年 4月 （株）河合楽器製作所 入社
塚原光男氏らとカワイ楽器のチームの一員として競技生活を送る
昭和48年（1973）3月 菅ピアノ調律所 開設
同年 11月 三原体操クラブ開設
昭和53年（1978）7月～8月
カナダのヨーク大学体操セミナーにコーチとして参加
平成1年（1989）4月 呼吸健康法講座（気功教室）開講
平成13年（2001）10月 「健康管理士一般指導員」資格取得
平成19年（2007）6月 NPO法人青竜スポーツクラブ設立
平成20年（2008）10月 日本体育協会公認コーチ資格取得

競技歴

昭和42年 全国高等学校体操競技選手権大会
個人総合7位
種目別 跳馬 優勝 ゆか 3位
昭和43年（1968）全日本体操競技選手権大会
団体総合3位入賞（河合楽器）
昭和45年（1970）NHK杯（世界選手権最終予選）出場
昭和46年（1971）～ 国民体育大会4回出場
中四国選抜大会3回出場（25回・27回優勝）

